2018年10月 すくすくちーず

社会福祉法人　悠林舎

気候よき心地良さにひたる間もなく、運動会、ハロウィン、宿泊訓練、秋祭りetc…季節のイベントがドドドッと押し寄せる秋、ご家族もキッズ達もますます忙しい毎日かと存じます。
大人もそうですが、外で気持ちを張りつめてがんばっている分、家では不機嫌をぶつけてみたり、大人から見るとだらけているように見えたり…。そうなんです、僕だって私だって、みんながんばってる、大人みたいに ちょうどいいくらいに加減したりできないだもん。（←キッズ心の声を代弁させていただきました（苦笑））
食欲の秋、読書の秋…一人ほっこりする時間を持つこと、適度な距離感を持つことも大切なのかも。。。「自分で自分をいたわれる」将来こうなれることが究極の自立かもしれませんね。
そうだ、大人も子どもも皆んなみ～んな頑張ってるんだもん、とふと思う秋の夜長でありました♪

《こっち向いて ちーず》
～先月の活動エピソード～

ぺったんぺたぺた野菜スタンプ　"感覚あそびを楽しもう"

保護者のかたも子ども時代に経験したことがあると思われる野菜スタンプ。スタッフが畑で収穫した野菜を持ち寄り、模造紙いっぱい、押すことを楽しみました。
旬の野菜の名前、形や色、におい、触感を味わいながら、
「これってなあに？」「ピーマン？とうがらし？似とるけど、どっちだろう？」
「最初は緑だけど、だんだん赤くなってくるよ」など、はじまる前から会話が弾みます。そして、自分で切ってみて、断面の意外な形状にびっくり☆
絵具で思いおもいに色を塗り、紙に押した形から想像し、さらに友だちと交換したり、押してみて感想を言い合ったり。
こうした昔ながらの季節行事、伝承あそびは、私達が子ども時代当たり前に経験してきた大切な事を思い出させてくれるように感じます。

【ねらい】
- **野菜への興味をはぐくむ（食育にもつながる）**
- **五感から脳の発達をうながす**
- **手指の筋肉の発達**
- **造形力、発想力**
- **好奇心、意欲をそだてる**

☆残り野菜で手軽にできる感覚あそびです。

10月イベント予定

キッズベース SEEDS

〒774-0044 阿南市上中町南島715番地１／電話 0884-24-8850　社会福祉法人 悠林舎　2018年10月1日発行

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
ハロウィン月間 マントやカチューシャを制作し、	はろはろパーティ 制作ウィーク			発育相談 すくすくひろば ☆発達・療育に関するご相談をお受けします
	自分だけのオリジナルコスチュームをつくって準備しよう♪ マント、帽子、カチューシャ　パーティーまでの準備のはじまり♪			
8	9	10	11	12
体育の日 休	制作ウィーク ほっこりまったり 癒しDAY			発育相談 すくすくひろば
	引き続き制作を、そして運動会＆秋祭りの練習のお子さんもいる為、心身をゆったり休める、またはゆるめる活動を取り入れます			
15	16	17	18	19
☆持ち物	秋の景色を感じよう 外出DAY			発育相談 すくすくひろば
	気候がいい今の季節を満喫しに、お出かけしたいと思います。 牛舎、公園、図書館等… ※気候や体調等にあわせて実施します。			
22	23	24	25	26
	リッツパーティ♡ 好きなフルーツ、クリーム、ソース等 乗せて、みんなで会食しよう♪		はろはろパーティ スィーツの宴	発育相談 すくすくひろば
29	30	31		
ソーシャルスキルトレーニング 『リラックスできる方法をためそう』		はろはろパーティ スィーツの宴 交流スペース すくすくサロン	HPはこちらから	

《すくすくコラム》
療育のおはなし

『ソーシャルスキルトレーニング』ってなぁに？

訳すと"社会技能訓練"といって、人とよりよい関係を築き、社会に出た時に、自分も相手も安心して生活できるようになる為の"かかわりかたのトレーニング"です。「自転車の乗り方を練習するように人との接し方も練習によって身につくことができる」という考え方に基づいています。

放課後等デイに通う子ども達のなかには、
①自分の感情や行動をコントロールできない
②自尊心が低く、自信がもてない
③特定の感覚の苦手さやこだわりがある
④相手の気持ちが想像できない
といった苦手さがあり、これらにより、人とうまくかかわる事ができず、傷つく経験をする子がいます。

くわしい方法については別の機会としますが、取り組むテーマは『あいさつ』『順番』『勝ち負け』など様々。
ポイントは、『興味あることを活かして』『自己肯定感を高める』やりかたで、実践を通して楽しみながら
（1）「人とかかわることっていいことなんだ」を実感できること
（2）般化（はんか）＝日常に必要な場面で活かせることを目標として取り組みます。

《愛のビタミンよみきかせ》

"みえるとか みえないとか"　　ヨシタケシンスケ作・絵

ヨシタケさんといえば、『りんごかもしれない』や『ぼくのニセモノをつくるには』で人気の新鋭絵本作家。
その画風と登場人物のキャラ・セリフまわし・ストーリー展開は、なんとも味があり一度読むとやみつきに！
『ぼくのニセモノ…』は高学年児のメタ認知（自分を知る）ワークでも活用されている程
特別支援の視点を鋭く突いているのです。
本作では、視覚を失うことによって、見えてくる世界のあり方、感覚など
についてゆる～く描かれているのに鋭くて奥深い！

『目の見えない人は世界をどうみているか』という視覚障害の世界を描いた書に感銘を受けた著者が、絵本化した作品。2018.8月新刊。